

# 「環境福祉学会誌」執筆要領

## 1. 原稿の体裁と分量

- ・原稿は横書きとし、ワープロなどでA4版用紙を用いて作成する。
- ・原稿のうち本文に関しては、1頁=1行24字×36行で仕上げる（この場合2頁で刷り上がり1頁となる）。
- ・図・表・写真に関しては、本文中に書き込まず1つの図、表、写真ごとに別紙として作成する。

## 2. 原稿の内容と構成

- ・本文の1頁目に、表題、著者名、欧文表題、欧文著者名、邦文要旨（300字以内）、脚注に執筆者名のひらがな表記、所属機関名、邦文キーワード（6個以内）を記載する。所属は、大学・学部・学科、会社名・部・課などのように3項目以内とする。職名は記載しない。
- ・本文の最終頁に、補注、文献リストを記載する。英文要旨をつける場合は、150語以内（邦文要旨と対応）、英文キーワード（6個以内、邦文キーワードと対応）を記載する。
- ・図・表・写真のキャプションの番号は図1、表1、写真1などと表す。
- ・頁番号を記載する。

## 3. 本文

- ・本文の見出しは、1・・・、1-1・・・、1)・・・、(1)・・・、①・・・という順序に統一させ、はじめに、おわりに、には数字をふらない。
- ・常用漢字、新かなづかいによる。代名詞、副詞、接続詞、助動詞、助詞はできるだけかな書きにする。  
例：我々→われわれ、次第に→しだいに、但し→ただし、…出来る→…できる、…易い→…やすい、様々→さまざま、尚→なお、更に→さらに
- ・数字は原則としてアラビア数字を用いるが、以下にならう。
- ・文中で使う一般数字は、万、億などの単位語をあわせて用いる（1万2,345人など）。
- ・図表など数字のみを並べて用いる場合は、3桁ごとにコンマ（,）でしきる。
- ・熟語、成句は漢数字で書く（第三者など）。
- ・分数の表記は「3分の2」などとせず、「2/3」とする。
- ・単位記号はかたかなではなく、記号で表記する。  
例：センチメートル→cm
- ・生物の学名、記号などのイタリック体表記はアンダーラインで指定する。
- ・本文中で補注を必要とする場合には、1)、2)、～n)の記号で本文該当箇所の右肩に明示する。
- ・本文中の文献引用は、著者の姓（まぎらわしいときには名を併用）、発表年を書く。著者が2名まではそのまま記し、3名以上の場合は筆頭著者のみを記し「ら」、「et al.」を加える。同一名、同一年の場合は、発表年の後にa、b、cを記す。

例：田中（2009）は、中村（2010a）によれば、・・・と報告されている（田中・中村、2011）、田中ら（2012）

Tanaka（2009）は、（Tanaka and Nakamura、2010）、Tanaka et al. 『2011』、『Tanaka et al、2012）

#### 4. 図・表・写真

- ・図、表、写真の挿入箇所は本文右側欄外に、赤字で指定する。
- ・図表は、そのまま版下として使用できるように作成する。また、コンピュータを用いて作成した図表等は鮮明な原本に限る（電子媒体に記録したものを原稿に添付する）。
- ・図表の細部や文字は縮小されるので、刷り上がりの大きさを考え、A4版に縮小されても文字が読み取れるように作成する。

#### 5. 補注・文献リスト

- ・補注は文献リストの前に一括掲載する。
- ・インターネット上の情報を引用する場合には補注として扱い、著者またはホームページ作成者・運営者名、最新更新日、記事のタイトル、URL、参照時の年月日を明記する。  
例：（株）環境新聞社（2013.4.10 更新）【コラム】東風西風．環境新聞社ホームページ〈<http://www.kankyo-news.co.jp>〉、2013.4.20 参照。
- ・文献リストに掲載する文献は、本文中に引用した文献に限る。著者名のアルファベット順に下記の記載形式にしたがって記載する。同じ著者のものは年代順に並べる。同じ著者の同一年のものは、引用順に『1994a』などのように、a、b、c・・・を付して並べる。
- ・雑誌中の論文の場合：著者名（発表年）「論文名」『掲載雑誌名』（外国雑誌名はイタリック体にする）、掲載巻号『巻がなく号だけのものはNo.6のように書く』、掲載頁最初～最後。

例：石田頼房（1992）「環境からみた都市計画と今後の展望」『環境福祉学会誌』No. 21、2～6 頁。

Schiller, K. (1967) “Stability and growth as objectives of economic policy”  
*The German Economic Review* Vol. 5, pp. 1-20.

- ・単行本の場合：著者名（発表年）書名．出版社名。  
例：柳 憲一郎（2011）『環境アセスメント法に関する総合的検討』．清文社。
- ・編著図書あるいは論文集の中の論文の場合：著者名（発表年）「論文名」『書名』（編者名）、掲載頁最初～最後、出版社名。  
例：山本良一（2012）「心の開発から美徳経済の推進」『未来を拓くエシカル購入』（山本良一・中原秀樹編著）、12～18 頁、環境新聞社。

#### 6. その他

- ・書評もしくは翻訳紹介については、その対象となった書籍の著者または編者名、書名、発行所名、発行所電話番号、総頁数、定価、発行年を見出しとして付記する。文末に執筆者（書評者・翻訳者）の氏名・所属を記載する。

- ・ 質疑応答については、その対象となった論文等の著者、発表年、論文等のタイトル、掲載巻号、掲載頁を見出しとして付記する。

## 7. 要領の改定

本要領に改定の必要が生じた場合は、編集委員会及び学術委員会が審議し改定するものとする。

## 附 則

本要領は、2013年6月2日から施行する。